

令和2年度 事業報告

自 令和2年4月 1日

至 令和3年3月31日

I 事業の重点目標

- 学校給食の振興を図り、児童生徒及び国民への食育を推進する活動をととして、児童または青少年の健全育成に寄与する。
- 学校における教育活動に根付いた食育の推進をととして、児童生徒の健全な育成と豊かな人間形成を目指し、あわせて、保護者をはじめ地域住民など広く国民の心身の健康に寄与する。
- 食育推進の中核である栄養教諭、学校栄養職員の資質の向上を図る。
- 食育推進に係る国の施策の遂行に協力するとともに、国民の健康増進に寄与するための事業を行う。
- 公益社団法人として、社会における役割と責任を自覚した活動を行う。

II 事業内容

公1. 食育の推進事業

(1) 学校給食週間行事の推進

学校給食週間では、学校給食の意義や役割を見学児童や教職員、保護者、地域の方々への理解と関心を深めるための機会とし、食育活動を推進した。また、全国で行われている食育活動を収集して取り組み事例集を作成した。それを全国の栄養教諭等が共有し参考とした。なお、事例の収集にあたり文部科学省の後援・協力、都道府県教育委員会、指定都市教育委員会等の協力を得ている。

- 期間 令和3年1月24日（日）～30日（土）
- 内容
 - ・学校給食週間中における児童生徒への啓発活動を実施
 - ・学校給食に関しての保護者や地域の方々への広報活動を実施
 - ・学校給食週間中の取組事例集の作成・発行 9,200部（令和元年度実施分）
 - ・全国で行われている食育活動の収集（令和2年度実施分）

(2) 食育推進リーフレットの作成・配布

本会事業を踏まえたリーフレットを増刷し、食育推進全国大会や「早寝早起き朝ごはん」全国協議会開催イベント等で配布し、食育推進の啓発活動を行うための既発行リーフレットの増刷を行った。

「朝ごはん あたま、からだ、こころ、おなかのスイッチ」	1,500部
「カルシウムの摂取について考えてみましょう！」	2,000部
「学校給食で生活習慣病をノックアウト」	2,000部

(3) 食育月間事業—第15回食育推進全国大会—

国の施策である食育月間における「食育推進全国大会」に参画し、啓発資料の配布、掲示、食育活動を展開し、広く国民の心身の健全な発達に寄与する活動は、新型コロナウイルスによる感染拡大を考慮し、不開催とされた。

- 期日 令和2年6月27日（土）～28日（日）
- 会場 愛知県常滑市 愛知県国際展示場
- 内容
 - ・掲示
 - ・啓発資料の配布
 - ・参加者対象の食育活動
 - ・全学栄養品及び全学栄養すいせん製品の紹介

(4) 関係団体への協力

食育の推進及び学校給食の振興、栄養教諭・学校栄養職員の資質向上に関連する他団体の事業に参画し、専門性に基づいた支援や意見提言を行った。

<関係団体>

- ・食育推進会議（農林水産省）・・・・・・・・委員として関与
- ・「早寝早起き朝ごはん」全国協議会・・・幹事会の構成員として関与
「早寝早起き朝ごはん」全国協議会開催イベント（キッズフェスタ）でブースを出展し、リーフレットやレシピの配布及び食育体験活動を行った。
 - 期日 令和2年5月16日（土）（不開催）、令和2年10月24日（土）（開催）
 - 会場 国立オリンピック記念青少年総合センター
 - 内容 ・体験活動 ・パネル展示 ・啓発資料の配布
 - 対象 親子
- ・全国地産地消推進協議会（農林水産省）・幹事会の構成員として関与
- ・（公財）日本学校保健会・・・・・・・・理事会、評議員会の構成員として関与
- ・（公財）学校給食研究改善協会・・・・・・・・理事会、評議員会の構成員として関与
全学栄製品及び全学栄すいせん製品等の食材を活用した調理研究事業に参画することにより、学校給食の献立内容を豊かにし、教材としての充実を図るための資質を養った。
 - ① 調理講習会（栄養教諭・学校栄養職員対象）
 - ② 親子料理教室（児童生徒・保護者対象）
 - 実施期間 令和2年度
 - 会場 調理講習会（全国 2県（群馬県、三重県）
親子料理教室（全国 4県（宮城県、群馬県（2地区）、千葉県、島根県）
 - 内容 調理講習会・講演
- ・（一社）Jミルク・・・学術フォーラム（ジャパンミルクコンGRESS 2020オンライン）に後援として関与

公2. 食育推進人材育成事業

(1) 栄養教諭免許状更新講習

栄養教諭免許状更新講習として、選択領域18時間の講習会を開設し、受講証明書を付与した。

- 期日及び人数 令和2年9月18日（金）～10月5日（月） 113名
- 実施形態 インターネット配信
- 対象 栄養教諭免許状更新該当者

令和3年度開催の栄養教諭免許状更新講習（1回開催）の受講予約の受付を行った。

(2) 食育推進講習会

栄養教諭をはじめとする食育推進に関わる者及び今後食育に関わることを目指す学生等の専門的知識の修得と指導力の充実を図ることを目的として行う本講習会は、新型コロナウイルスによる感染拡大を考慮し、不開催とした。

近年、学校における食育の推進の中核となる栄養教諭・学校栄養職員の専門的知識や技能の向上が求められており、食育の評価や栄養教諭の配置効果が見える形で示していく必要があることから、食育に関わるものの指導力の充実を図ることが重要となっている。

○期日及び人数

【データ解析・論文コース】

第1回 令和2年10月 9日（金）～11日（日） 80名

第2回 令和2年10月30日（金）～11月1日（日） 80名

【一般コース】

第1回 令和2年11月27日（金）～29日（日） 105名

第2回 令和2年12月 4日（金）～12月6日（日） 105名

○会場 国立オリンピック記念青少年総合センター

○対象 本会会員及び一般参加者

(3) 第56回学校給食夏季講習会

学校給食の食事内容を改善充実し、児童生徒の体力増進、食事に対する正しい知識とその実践を図るために必要な事項について研修を行い、栄養教諭・学校栄養職員の資質の向上と学校給食の振興に資する本講習会は、新型コロナウイルスによる感染拡大を考慮し、不開催とした。

○期日 令和2年6月19日（金）～21日（日）

○会場 国立オリンピック記念青少年総合センター

○対象 本会会員及び一般参加者 140名

(4) 栄養教諭のためのカリキュラム検討委員会

食に関する指導の手引―第二次改訂版―を踏まえて、身に付けたい資質・能力を食育の視点に沿っておさえた「教科等における食に関する指導」の指導展開例をまとめた。

今年度は、新しい食育「教科等における食に関する指導」小学校編として刊行し、栄養教諭等関係機関へ配布した。

○組織 栄養教諭のためのカリキュラム検討委員会 7回開催（リモート開催）

○刊行 新しい食育「教科等における食に関する指導 小学校編」9,200部

(5) 都道府県代表者研修会

本会が取り組む食育を全国的に推進するための知識、手立てを共有し、会員相互の資質向上と食育推進のレベルアップを図る目的で開催する本研修会は、新型コロナウイルスによる感染拡大を考慮し、1回目は不開催とした。2回目は、リモートで開催した。

<1回> ○期日 令和2年7月29日（水）（不開催）

○会場 チサンホテル宇都宮（栃木県宇都宮市）

○対象 本会会員の都道府県代表者

<2回> ○期日 令和2年12月10日（木）

○会場 本会事務所（東京都渋谷区、Zoom ホスト）

○対象 本会会員の都道府県代表者

(6) 第61回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会

学校における食育の推進にむけて、児童生徒に対する食に関する指導のあり方や学校給食の充実を図る方策について研究協議を行う全国大会であり、文部科学省及び開催地の都道府県教育委員会とともにこの大会を主催しているが、新型コロナウイルスによる感染拡大を考慮し、紙面開催とした。

- 実施形態 紙面開催（栃木県宇都宮市）
- 対象 栄養教諭・学校栄養職員及び学校給食関係者

（7）第71回全国学校給食研究協議大会への参加

主催は文部科学省及び開催地の都道府県教育委員会等。学校における食育推進にとって重要な役割を担う学校給食のあり方について、全体会、分科会で研究協議を行い、学校給食関係者の資質向上を図る目的で開催されるこの大会は、新型コロナウイルスによる感染拡大を考慮し、不開催とされた。

- 期日 令和2年10月29日（木）、30日（金）
- 会場 熊本城ホール（熊本県熊本市）
- 対象 栄養教諭・学校栄養職員及び学校給食関係者

（8）広報活動

① ホームページの充実

本会事業の推進と成果及び調査研究結果等を会員及び広く不特定多数に対し開示するとともに、新たな情報やニーズを把握して、随時、更新を行った。

② 機関誌「公益社団法人全国学校栄養士協議会報」を会員及び本会関係者に配付した。

第76号（令和2年8月31日発行）、第77号（令和3年1月29日発行） 各9,200部

公3. 健康増進調査研究事業

（1）食生活実態調査

児童生徒の健康増進や学校給食の振興に関する調査研究を行い、課題解決の具体的方策を検討した。あわせて、研究の成果を広く一般に公表した。

① 研究推進助成事業

○内容 都道府県学校栄養士研究団体又は会員団体が行う食育に関わる研究を募集し、審査の上で助成した。

○助成費 1年間、1都道府県10万円 1県

広島県 研究題目「児童の食生活の変容に向けた学校における食育の取組みの効果を探る」

○報告書 令和元年度助成先（千葉県、宮崎県）について、都道府県代表者研修会等で研究の成果を発表するとともに、機関誌やホームページに掲載した。

② 食育推進実態調査

調査

○内容 食育推進状況を把握し、指導に活かすための手立てについて研究を行った。また、その結果を会員に報告し、今後の取組に役立てた。

○組織 食育推進実態調査プロジェクトチーム

○報告書 9,000部

調査

○内容 新型コロナウイルス感染症への対応として、休校中における栄養教諭・学校栄養職員の取組を把握した。また、その結果を会員に報告し、今後の取組に役立てた。

○報告書 9,200部

(2) 栄養・衛生・安全管理の徹底を図る事業

学校給食における食中毒防止の徹底を図るため栄養教諭、学校栄養職員が小グループ研究班を編成して学校給食施設を訪問し、衛生管理体制等の現状把握と点検を行った。点検、協議の結果からその改善点を見だし、衛生管理の徹底を図ることを目的とした報告書を作成・配付した。

- 実施期間 令和2年度
- 対象 全国学校給食施設
- 方法 小グループによる研究授業方式をとった研究実践（点検・記録・協議）
- 報告書 9,200部（令和元年度実施分）

なお、実施にあたり文部科学省の後援・協力、都道府県教育委員会、指定都市教育委員会等の協力を得ている。

(3) 学校給食用食品の研究開発

学校給食への優良な物資の供給を図ることをとおして、学校給食の振興に寄与し児童生徒の心身の健康に資することを目的として検討、見直しを図った。

① 災害時における非常食の開発

災害発生による非常時においても、成長期の子どもたちに栄養バランスのとれた食を提供することができるために、災害時学校給食用非常食を開発し、子どもたちの心身の安定と体力保持に寄与することを目的として検討した。

- 組織 災害時学校給食用非常食開発委員会 2回開催（リモート開催）
- 内容 食品開発の検討
- 普及活動

- ・サンプル配付（救給カレー、救給根菜汁、救給コーンポタージュ、救給五目ごはん）各71箱
- ・啓発チラシの作成、配布（非常食四種合体版 2,800枚）

② 全学栄製品及び全学栄すいせん製品の選定と献立研究

全学栄製品及び全学栄すいせん製品の見直しを行った。

- 1) 全学栄製品の製造工場変更と製造工程の変更（「黒豆さつま」、「枝豆とじゃこの元気ボール」）
- 2) 全学栄救給シリーズ商品の賞味期限表記方法の変更
- 3) 「全学栄枝豆とじゃこの元気ボール」原料原産地の変更
- 4) 「全学栄かぼちゃチーズフライ」及び全学栄すいせん製品「スクールチーズフォンサンドコロケ」小分け袋表示の変更
- 5) 全学栄製品「全学栄 野菜ミックスボール」及び全学栄すいせん製品「スクールかにボール」の配合変更
- 6) 全学栄すいせん製品「スクールがんもどき」の配合変更
- 7) 全学栄すいせん製品「菜の花ふりかけ」の原材料表示、資材変更
- 8) 全学栄製品「全学栄救給カレー」の原料終売に伴うリニューアル
- 9) 全学栄すいせん製品「スクール糸かまぼこ（ほぐし）」の原料終売に伴うリニューアル
- 10) 既承認受 全学栄製品「全学栄野菜ミックスボール」の減塩に伴う配合変更の一部訂正
- 11) 全学栄すいせん製品「ほぐしささみ（水煮）」の製品規格変更

Ⅲ 会議

総会・理事会・都道府県代表者会を下記のとおり開催した。

会議名	回数	期 日	内 容
理事会	第1回	令和2年 5月17日(日)	令和元年度事業報告及び収支決算 定時総会の開催、令和3年度正会員・ 賛助会員の入会金及び会費、賛助会員 の入会(書面開催)
都道府県代表者会	第1回	令和2年 6月11日(木)	不開催
定時総会		令和2年 6月12日(金)	令和元年度事業報告及び収支決算 令和3年度正会員・賛助会員の入会金 及び会費(書面開催)
理事会	第2回	令和2年 6月12日(金)	不開催
理事会	第3回	令和2年 7月29日(水)	不開催
理事会	第4回	令和2年10月25日(日)	令和2年度正会員入会、令和3年度事 業計画、規程改正、事業報告(リモ ート開催)
理事会	第5回	令和2年12月10日(木)	令和2年度正会員入会、令和3年度事 業計画、役員改選、事業報告(リモ ート開催)
理事会	第6回	令和3年 2月13日(土)	令和2年度正会員入会、令和3年度事 業計画及び収支予算(リモート開催)
理事会	第7回	令和3年 3月10日(水)	事業報告、令和3年度事業計画(リモ ート開催)
都道府県代表者会	第2回	令和3年 3月10日(水)	事業報告、令和3年度事業計画及び収 支予算(リモート開催)

Ⅳ 事業報告の附属明細書

1 補足すべき重要な事項

該当事項はありません。